

那覇国際高等学校

学校だより 第9号



本校

オープン・スクール 大盛況！

那覇国際高校オープン・スクール体験授業等



物理の
体験授業



化学の
体験授業



生物の
体験授業



地学の
体験授業



地歴・公民の
体験授業



数学の
体験授業



英語の
体験授業



総合的な探究
成果発表



制服着用体験



入試概要説明



高校生との交流会



国際科紹介&留学報告

NAHAKOKU Open School!
2025.8.19(TUE)
9:00~13:00

対象 中学3年生
先着 500名
申込 7/16(水) 17:00~

詳しくは
学校HPから

沖縄県立那覇国際高等学校 TEL: 098-860-5931
http://www.nahakokusai-h.open.ed.jp

イラスト協力
知念ニコール先生さん

来年春に高校入試を受験する中学3年生へ本校の教育活動や学校の雰囲気などの魅力を伝えるため「那覇国際高校オープン・スクール」が8月19日、本校にて実施され、午前・午後合わせて800名以上が参加しました。「各教科の体験授業」や「学校紹介の動画上映」「入試概要説明」「留学報告」「総合的な探究の成果発表」「高校生との交流会」「制服着用体験」「施設見学ツアー」「部活動見学」等、盛りだくさんの内容があり、多くの中学生が熱心に耳を傾けていました。

今後の行事予定

- 8月
26日(火) 2学期始業式 HR役員認証式
28日(木) 第2回スタディサポート(1・2年必)
第2回進路希望調査(3年生)
- 9月
1日(月) 教育実習開始(～12日)
2日(火) 3年進路集会
進路講演会(1・2年生)
4日(木) 1・2年進路集会
5日(金) 休業日(旧盆のため)
8日(月) 進路講演会(1年生)
9日(火) 2学年集会
10日(水) 教育実習生との交流会(昼食時)
11日(木) 3学年集会
同時通訳講座(2年国際科)

九州大会・全国大会へ出場！



競技カルタ(滋賀県)



上：吹奏楽(香川県)



下：自然科学
(香川県)



下：陸上
(広島県)



アーチェリー(山口県)



左：競泳
宮崎県



左：将棋
香川県



名言・名句

Going into
the Baseball Hall of Fame
was not my goal...
But being here today
is like a fantastic dream.

米国で殿堂入りすることは
私の目標ではありませんでした。
でも今日、この場にいることは
素晴らしい夢のようです。



【解説】

これはアメリカ大リーグのマリナーズなどで通算3089安打を放ち、アジア人で初めてアメリカ野球殿堂入りしたイチロー氏が7月27日、ニューヨーク州の表彰式典で述べた言葉である。
イチロー氏は、式典で20分ほど英語でスピーチを行いました。



合格体験記 8 (一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部 一般入試前期)

(1) この大学(学科)を選んだ理由

学問を幅広く、かつ熱意のある仲間と学びたいという思いがありました。一橋大学は全学部共通教育科目で幅広い分野の授業を履修でき、また他学部の授業にも参加できるなど学部間の垣根の低さが特徴で自分にとてもぴったりだなと感じました。また、志望学部自体が「社会科学×データサイエンス」という文理融合的な側面を持ち、両方の知見を組み合わせることに活かすという事が可能になるというのも魅力的でした。私は郷土愛が強いほうで、沖縄に何かしら形で貢献したいと思っています。ただ具体的なアプローチはまだ定まっておらず、この学部で学べば明確なキャリア像のイメージができ、貢献という目標に一つ近づけるだろうという希望がありました。こうしたことを志の高い友と学べるということで、よりいっそう一橋大学に惹かれました。あとは、あまりにもキャンパスが「美しすぎる」。洋風でおしゃれな建物が並び、緑の多い環境で四年間学ぶことを想像して気持ちはさらに強くなりました。

(2) 高校在学中の勉強方法について

恥ずかしながら、これまで成績がよかった流れで、大学受験に対して「まあいけるだろう」という根拠のない自信を持っていました。しかし受験期に入り、本番レベルの問題を目にして、自分のレベルが本当にそこまで届くのかという不安が一気に押し寄せました。これまでの認識、つまり「多少の才能と感覚頼みでやっていける」という甘い見通しを改める必要があるとわかったのです。演習量は本番の安心材料にもなりました。前期試験の一週間前、あの秋からここまでたくさんの問題を解いてきて色んな視点が身についたな、とふと思ひ、「ここまでやってきたし、本番も普通どおり力を出せば大丈夫」という自信を持っていました。しかしこの自信は1年前の「根拠のない」ものとは異なり、積み重ねという実績が確実に支えとなった、実のある自信でした。これのおかげで試験場ではあまり不安はなく、冷静さを保ちながら問題に向き合えたと思っています。受験において情報収集はとても大事です。自分の志望する大学が求める学力レベルに到達するために、具体的にどのような手立てをとるべきか。どの参考書、どの勉強法にしようか。ネットや書籍、友達からさまざまな情報を聞いて思い悩みました。しかし、結局、自分にあうやり方は自分で試行錯誤して作るしかないと思います。「自分を軸にした勉強」です。この考え方の背景には、ショウペンハウエルの名著『思索』『読書について』があります。他人の思考をそのまま借りるだけでは、本当の理解や成長に繋がらない。大切なのは、自分で考え、自分で納得し、自分なりの形にすることです。受験勉強もまったく同じでした。受験勉強をするうえでの様々な選択肢をどう選ぶかは、最終的に自分の頭でたくさん吟味して自分の手で決めるべきです。

(3) 先輩へのアドバイス

私はこの文章を4月末に執筆しています。大学に入って1ヶ月経ったわけですが、とにかく刺激的で楽しいです！新しい環境で新しい仲間に出会い、新たなことにチャレンジできる。高校までよりもはるかに自由であるこの瞬間を噛みしめ、精一杯エンジョイしようと思います！みなさんも志望大学に入ったときのことを想像しながら受験勉強を頑張ってください。

本校25期生(令和7年3月卒業) 男性